

エコアクション21

環境経営レポート

対象期間：令和5年7月1日～令和6年6月30日



株式会社イシガミ

第8版 作成日 令和6年11月20日

I 環境経営方針

【企業理念】

株式会社イシガミは建設業を行う企業として、地球温暖化問題への取り組みや、生活環境を保全・創造する事業活動を通じ、積極的に環境保全活動に取り組む企業を目指します。

【環境経営方針】

当社は、企業理念に基づいた環境経営システムを構築し、組織全体で環境への配慮と事業活動が与える環境負荷の低減に努めます。
次項を実行することによって、環境経営の継続的な改善を図り環境汚染の予防に努めます

1. 環境負荷の低減と環境保全活動への取り組み

- ① 業務用車両の効率的な利用とエコドライブの実施や事務所内における消費電力の低減を図り、CO2の削減に努めます。
- ② 廃棄物の3R（リデュース、リユース、リサイクル）の活動に取り組み建設リサイクル法による適正処理を行います。
- ③ 水の効率的利用及び日常的な節水に努めます。
- ④ 環境に配慮した物品等（グリーン商品）を購入、使用します。
- ⑤ 環境に配慮した工事の提案・実践に努めます。

2. 環境関連法規制等の遵守

環境関連の法規制等を遵守し、法規制に対し責任・信頼感のある企業を目指します。

3. 環境コミュニケーションの積極的実施

環境活動レポートを公開し、利害関係者とのより良いコミュニケーションを実践し、企業の社会的責任を果たします。また、環境方針を全社員に周知徹底すると共に、環境保全に関する意識を高め、環境保全状況の知識と認識の向上を図ります。

改定 令和 3年 7月 1日

株式会社イシガミ

代表取締役 石上 誠

II 会社概要

1. 事業所名及び代表者名 株式会社インガミ
代表取締役 石上 誠
2. 所在地 本社 〒421-0112
静岡県静岡市駿河区東新田四丁目3番17号
- 中島事務所 〒421-8046
静岡県静岡市駿河区中島1670-1
- 中島資機材置場 〒421-8046
静岡県静岡市駿河区中島1616-1
3. 環境管理責任者及び連絡先 環境管理責任者 中村 暢秀
連絡先 TEL 054-268-5552 FAX 054-268-5557
E-mail ishigami-kougyou1@goo.jp
4. 従業員数 28人
5. 事業活動の内容 土木工事業/とび・土工事業/管工事業/ほ装工事業/造園工事業/
水道施設工事業/解体工事業/
産業廃棄物収集運搬業/一般貨物自動車運送事業

●建設業許可

許可番号 静岡県知事許可(特-28)第032226号
有効年月日 令和3年12月7日～令和8年12月6日
建設業の種類 土木工事業/とび・土工事業/ほ装工事業/
水道施設工事業

許可番号 静岡県知事許可(般-28)第032226号
有効年月日 令和3年12月7日～令和8年12月6日
建設業の種類 管工事業/造園工事業/

●産業廃棄物収集運搬業

許可番号 静岡県 第02201079837号
有効年月日 令和3年10月2日～令和8年10月1日
許可品目 廃プラスチック類(石綿含有廃棄物を除く。)、
金属くず、ガラスくず・コンクリートくず及び
陶磁器くず(石綿含有廃棄物を含む。)、
がれき類(石綿含有廃棄物を含む。)、
汚泥、紙くず、木くず、繊維くず

許可車両 2tダンプ 3台 3tダンプ 10台 4tダンプ 2台
8tダンプ 1台 10tダンプ 7台 計23台

※積替え及び保管行為を除く

●一般貨物自動車運送事業

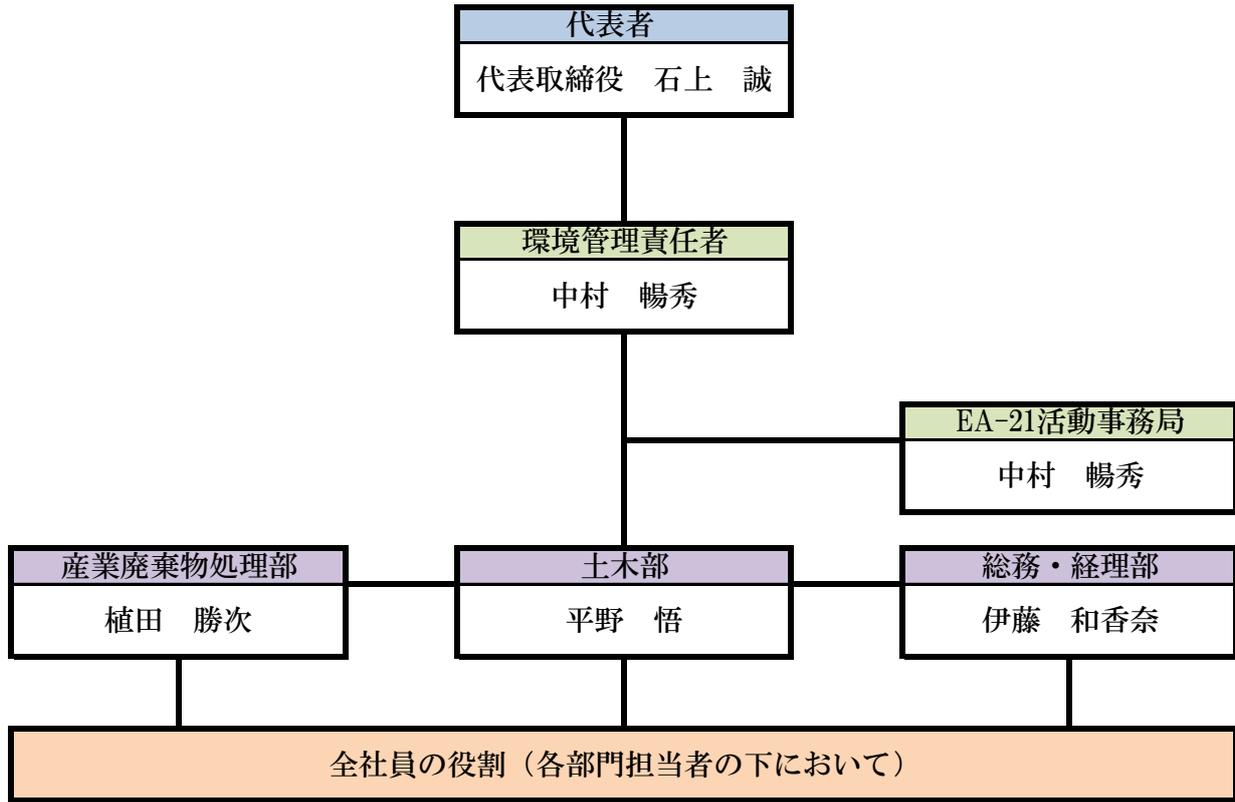
許可番号 中運自貨第815号
許可年月日 平成17年10月26日

6. 事業規模 設立年月日 平成13年7月13日
資本金 2,000万円

	単位	23期 R5.7/1～R6.6/30
売上高	百万円	788
産廃収集運搬受託実績	t	756.9
従業員数	人	27
事務所床面積	m ²	182
資機材置場面積	m ²	4200.0

7. 事業年度 7月1日～翌6月30日
8. 認証・登録の対象範囲 活動：全事業活動

III 組織図及び実施体制



【担当の役割と責任】

代表者
① 環境経営全般の責任と権限
② 環境経営方針の制定と社員への周知
③ 環境管理責任者の任命
④ 資源（人材、資金、設備）の準備
⑤ 全体の評価と見直し
環境管理責任者 兼 EA-21活動事務局
① 実施体制の構築
② 環境経営計画の推進
③ 環境経営目標及び環境計画の作成
④ 環境経営推進会議の実施
⑤ 各部門のデータ取りまとめ
⑥ 活動計画の実績管理
⑦ 環境負荷・環境への取組の自己チェックの実施
⑧ 法規制最新版管理及び文書、記録の保存
各部門担当者
① 環境計画の実施と、月別データの集計
② 問題点の把握と是正の実施
③ 推進会議の出席と従業員への教育
全社員の役割 (各部門担当者の下において)
① 環境経営目標、環境経営計画の実施に努める。
② 省資源、省エネ及び節水に努める。
③ 環境教育訓練、緊急事態の想定演習を実施する。

IV 環境経営目標と実績

活動実績（目標対比）

項目		単位	2023年目標(A)	2023年実績(B) R5.7.1～R6.6.30	目標と対比 B/A %
二酸化炭素排出量		k g -CO ₂	860776.97	762865.99	88.63%
事務所でのCO ₂ 削減 車両・重機での CO ₂ 削減	電力	k W h	14371.78	15683.00	109.12%
	ガソリン	L	16236.20	12680.34	78.10%
	軽油	L	284625.17	281504.06	98.90%
廃棄物 産業廃棄物 建設副産物等	コンクリート塊	t	1084.68	100.36	9.25%
	アスファルトコンクリート塊	t	430.32	1111.5	258.30%
	建設汚泥	t	0.00	0	#DIV/0!
	建設副産物リサイクル率向上	%	100	100	100.00%
水道使用量の削減	m ³	732.74	0	0.00%	
事務用品のグリーン購入率向上	%	+3%	2%	66.67%	
環境配慮工事の提案	件	2	0	0.00%	

電力のCO₂排出係数：0.457kg-CO₂/kWh（2020年）令和2年（令和4年1月7日）排出係数公表（報道発表資料）

中期環境経営目標 2020年度実績を基準とする

項目		単位	2020年 基準年	2022年 目標	2023年 目標	2024年 目標
二酸化炭素排出量		k g -CO ₂	865102.48	861642.07 -0.4%	860776.97 -0.5%	859911.87 -0.6%
事務所でのCO ₂ 削減 車両・重機での CO ₂ 削減	電力	k W h	14444	14386.22 -0.4%	14371.78 -0.5%	14357.34 -0.6%
	ガソリン	L	16317.79	16252.52 -0.4%	16236.20 -0.5%	16219.88 -0.6%
	軽油	L	286055.45	284911.23 -0.4%	284625.17 -0.5%	284339.12 -0.6%
廃棄物 産業廃棄物 建設副産物等	コンクリート塊	t	1090.13	1085.77 -0.4%	1084.68 -0.5%	1083.59 -0.6%
	アスファルトコンクリート塊	t	432.48	430.75 -0.4%	430.32 -0.5%	429.89 -0.6%
	建設汚泥	t	0	0.00 -0.4%	0.00 -0.5%	0.00 -0.6%
	建設副産物リサイクル率向上	%	100	100	100	100
水道使用量の削減	m ³	755.4	740.29 -2%	732.74 -3%	725.18 -4%	
事務用品のグリーン購入率向上	%	70	+2%	+3%	+4%	
環境配慮工事の提案	件	0	+1件	+2件	+2件	

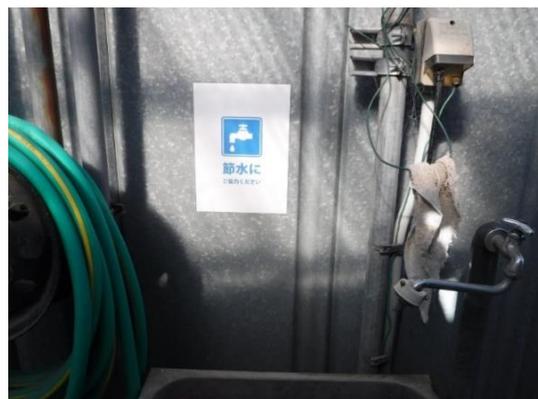
電力	原因分析	中島事務所増設により電力が増加している
	是正処置	次年度で使用量の減少に努める
ガソリン	原因分析	前年比では78.10%となり3年連続で減少している
	是正処置	今後もエコドライブなど推進しCO ₂ 削減に努める
軽油	原因分析	前年比では98.90%となり前期より少し増加している
	是正処置	低燃費車両、ハイブリッド型重機等の使用を増やしていく
廃棄物	原因分析	毎月の稼働台数と車両ごとの燃料使用量を管理している
	是正処置	工事内容によることもある
水道	原因分析	再生資源化率100%を達成出来ている
	是正処置	車両台数の増加に伴い洗車等で使用量が増加した 水道は井戸水を使用しているが今後も節水に心がける
事務用品のグリーン購入率	原因分析	事務用品の購入率は上昇してきている
	是正処置	今後グリーン購入については、建設資材も検討し購入率向上に努める

VI 環境活動計画の取組結果とその評価 次期の取組内容

方針	目 標	目標達成手段	評価・コメント	次期の取組内容	担当	
二酸化炭素排出量削減	車両・重機の燃料による二酸化炭素削減	・アイドリングストップ	無駄なアイドリングや、長時間の暖機運転を抑えることができるようになってきている	○	公道上においてもアイドリングストップの習慣づけが出来るようにしたい	平野
		・定期的な車両点検	法定点検以外のオイル交換やタイヤ点検の実施が確認出来てきた	○	安全運転管理者は点検表を作成し、社員に徹底させる	
		・エコドライブの推進	運転席に「エコ推進」ステッカーを張り、徐々に定着しつつある	○	定着しつつあるエコ運転をさらに継続させる	
		・効率的な運行経路の選択	まだドライバー任せになっている。今後の課題	×	ツールボックスミーティングを活用し、ドライバー任せにしない	
	電力による二酸化炭素削減	・空調温度の適正化（冷房28℃ 暖房22℃）	暖房を使用した時にまだ目標設定温度に慣れず25℃位の使用が目立っていた	×	外気が温かい日中はエアコンを消す等、無理のない範囲で空調管理に努める	伊藤
		・不要照明の消灯	本社は徹底されているが、中島事務所はまだ改善の余地がある	△	事務所を出る最後の人が、必ず消灯するルールを作りをする	
		・エアコン、照明等定期的清掃	定期的に清掃及び点検を継続して行く	—	10月と6月に定期清掃を行う	
		・PC、OA機器等未使用時の電源OFF	省電力設定に頼っている部分が多い	△	省電力設定だけに頼らず、シャットダウンの習慣をつける	
廃棄物排出量削減	一般廃棄物の削減	・分別の徹底及び適切な処分	社員の協力はあるものの、改善の余地がある	△	分別収集は、分類しやすい処分場所を新設する	伊藤
		・ unnecessary コピー・プリントの削減	「ついうっかり」ミスによるものがまだ多く目立つがメモ用紙としての活用に心がけている	△	印刷前の確認の徹底に心がける	
		・2 in 1 や裏紙使用によるペーパーレス化	割合は少ないが、意識は向上しつつある	○	個人の記録・社内の印刷物は、今後も2 in 1 や両面印刷を行う	
		・梱包材の再利用	具体例があまりないが、コピー用紙袋のゴミ箱内袋への転用などがみられる	○	処分する場合、圧縮・減量に努める	
	産業廃棄物の削減	・詰め替え型商品の購入	洗剤等の詰め替え商品を購入している	○	洗剤等に限らず、詰め替え商品のレポートリーを増やす	植田
		・作業ミスによる廃棄量の削減	設計数量以上の材料購入がみられる	×	設計値プラスアルファは、経験のある者の意見を取り入れる	
水使用量削減	水道水の削減	・節水ポスター掲示	掲示物が増えてきている	○	掲示物は見慣れてしまうので、ある程度の期間で新しいものと取り換える	伊藤
		・水漏れの点検	定期的に点検を継続して行く	△	1月と7月に行く	
		・環境に優しい資材等の情報収集	生産業者、メーカーからの情報が必要	△	もっと多くの建設資材でのグリーン購入対象商品を探し、現場と情報を共有する	
グリーン購入	グリーン購入の推進	・事務用品等グリーン購入の検討	対象カタログによる比較が行われている	○	今後も比較検討を行い、購入品を決定する	伊藤
		・リサイクル材の利用促進	砕石、コンクリートなどで再生品利用に努めている	○	砕石、コンクリート以外の再生品利用に取り組む	
環境配慮工事の提案	環境負荷を低減し、資源循環型社会の構築に寄与する	・環境配慮型建設機械の使用	環境配慮型建設機械の利用と購入を検討している	○	自社所有の機械も環境配慮型建設機械に出来るか検討する	平野
		・建設業の特色を生かした活動	平成28年1月より毎月1回 従業員参加による、中島公園の清掃奉仕活動を行っている	○	前回は、地元住民から大変喜ばれたので継続させたい。イベントなどにも積極的に参加する環境づくりをする	
地域貢献	地元で喜ばれる活動	・建設業の特色を生かした活動	平成28年1月より毎月1回 従業員参加による、中島公園の清掃奉仕活動を行っている	○	前回は、地元住民から大変喜ばれたので継続させたい。イベントなどにも積極的に参加する環境づくりをする	平野

VII 当社の取組み

手順書として掲示物の作製と表示



車内「エコドライブ10のすすめ」



リサイクルBOXの掲示



Ⅶ 当社の取組み

ハイブリッド車の導入



ハイブリッド車の増車



VII 当社の取組み

ハイブリッド建設機械の導入



GTL燃料の使用



VII 当社の取り組み

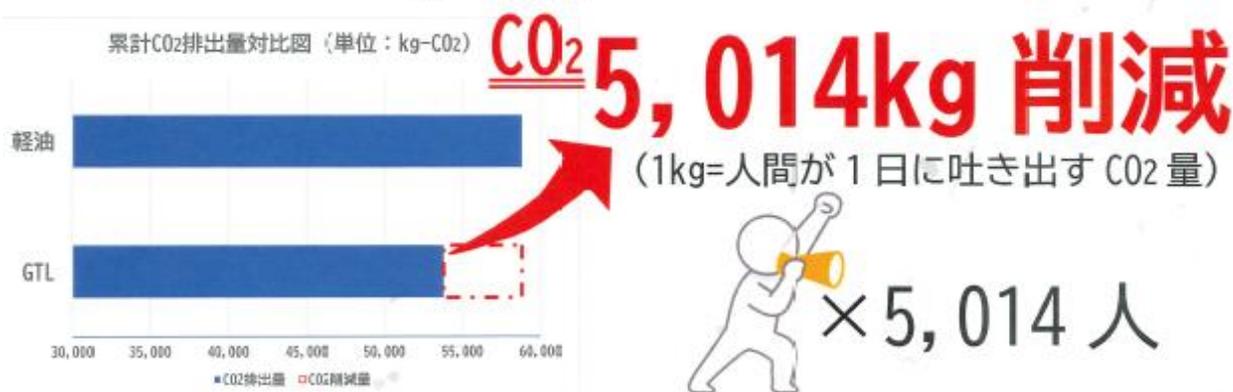
GTL燃料の使用

GTL 使用にあたり削減された CO₂

令和 3 年度 株式会社イシガミ様

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
燃料使用量 (ℓ)							1,766	8,582	12,449				22,797
軽油使用時のCO ₂ 排出量 (kg-CO ₂)							4,556	22,142	32,118				58,816
GTL使用時のCO ₂ 排出量 (kg-CO ₂)							4,168	20,254	29,380				53,802
CO₂削減量 (kg-CO₂)							388	1,888	2,738				5,014

※経済産業省認可のCO₂排出係数を使用
 軽油： 2.58 kg-CO₂/L
 GTL： 2.36 kg-CO₂/L

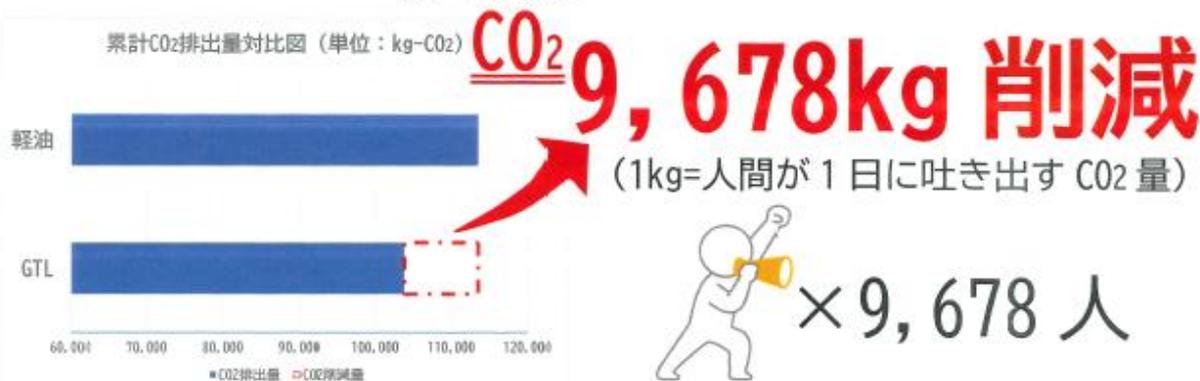


GTL 使用にあたり削減された CO₂

令和 4 年 イシガミ 様

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
燃料使用量 (ℓ)	11,230	14,650	6,716	6,018	4,872	508	0	0	0	0	0	0	43,994
軽油使用時のCO ₂ 排出量 (kg-CO ₂)	28,973	37,797	17,327	15,526	12,570	1,311	0	0	0	0	0	0	113,504
GTL使用時のCO ₂ 排出量 (kg-CO ₂)	26,583	34,574	15,850	14,202	11,498	1,199	0	0	0	0	0	0	103,826
CO₂削減量 (kg-CO₂)	2,470	3,223	1,477	1,324	1,072	112	0	0	0	0	0	0	9,678

※経済産業省認可のCO₂排出係数を使用
 軽油： 2.58 kg-CO₂/L
 GTL： 2.36 kg-CO₂/L



VIII 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果 並びに違反、訴訟等の有無

1. 当事業所に適用される環境関連法規等の遵守状況を確認した結果、違反はありませんでした。

令和 6年 8月 30日 確認者：中村暢秀

環境関連法規等名称	適用内容又は規制基準値	備考	遵守状況	
			確認	確認(報告)
建設リサイクル法	建設副産物のリサイクル	工事施工計画書 工事完了届	○	2024.8.30
廃棄物の処理及び清掃 に関する法律 静岡県・静岡市産 業廃棄物の適正処 理に関する条例	産業廃棄物収集運搬及び 処分業者との委託契約	契約書の締結	○	2024.8.30
	産廃収集運搬業許可の更新	許可証の有効期限 令和3年10月1日	○	2024.8.30
	マニフェストの管理・保管	排出事業（A/B2/D/E票） 収集運搬事業（B1/C2/票） の回収保管・5年間	○	2024.8.30
	マニフェストの期間内返却	90日以内又は180日以内	○	2024.8.30
	マニフェストの年間集計と 静岡市長への報告	電子マニフェスト使用 紙マニフェスト使用有の場合 は毎年6月30日までに提出	○	2024.6.30
	廃棄物の保管、飛散防止	60cm×60cm以上の掲示板設置 車両荷台ヘシートを被わせる 及び過積載の禁止等	○	2024.8.30
	処理委託先の視察	年1回の視察立会 と記録保存	○	2024.8.30
道路交通法	取得免許の確認	免許証の携帯	○	2024.8.30
	安全運転の義務	エコドライブに努める	○	2024.8.30
家電リサイクル法	特定電化製品の適正な引渡し	販売店又はメーカーにて （有料）処分	○	2024.8.30
国土交通省排ガス 3次規制	排出ガス対策型建設機械	バックホウ・発電機など	○	2024.8.30
PCリサイクル法	OA機器の適正な引渡し	販売店又はメーカーにて （有料）処分	○	2024.8.30
自動車リサイクル法	引取業者への引渡し	リサイクル料金の支払い	○	2024.8.30
フロン排出抑制法	整備時・廃棄時にフロンを回収	回収したフロンを破壊業者に 引渡し	○	2024.8.30
	簡易点検の実施	3カ月に1回以上の実施	○	2024.8.30
	点検等の履歴の保存	記録簿に記録する	○	2024.8.30
グリーン購入法	環境物品等の購入に努める	購入記録	○	2024.8.30

2. 関連機関からの違反指摘及び利害関係者からの違反指摘、訴訟等の受付は

過去3年間にわたりありませんでした。

IX 代表者による全体評価・見直し結果表

作成日 令和 6年 11月 18日

見直しに必要な情報	
項目	確認（必要に応じて評価・コメント記載）
① 環境方針	<input checked="" type="checkbox"/> 問題なし
② 環境目標及び目標達成状況	<input checked="" type="checkbox"/> 達成できない項目がある
③ 環境活動計画及び取組実施状況	<input checked="" type="checkbox"/> 十分な実施が出来なかった項目もある
④ 外部コミュニケーション・対応記録	<input checked="" type="checkbox"/> 問題なし
⑤ 環境関連法要求一覧及び順守状況	<input checked="" type="checkbox"/> 問題なし
⑥ 問題点の是正・予防処置実施状況	<input checked="" type="checkbox"/> 問題なし
⑦ その他	<input checked="" type="checkbox"/> 問題なし

全体評価と見直し		
見直し項目	見直しの有無	「有」の場合の指示事項等
① 環境方針	有 (無)	
② 環境目標及び目標達成状況	(有) 無	燃費向上に努め、無駄のない建設機械及び車両の使用計画を立て実施し、車両台数増加に合わせて目標値を決める
③ 環境活動計画	有 (無)	
④ 環境に関する組織	有 (無)	
⑤ その他のシステム要素	有 (無)	
⑤ その他（外部への対応等）	有 (無)	
【全体評価・コメント】		
<p>活動開始より5年エコ活動に取り組んできましたが社員の環境に対する意識の向上は確認でき高く評価します。 二酸化炭素排出量の増加の原因の一つとして社員の増加に伴いダンプトラックの台数も増えているので今後は車両の配置計画に重視していきたいと思います。 今後も環境保全に関する意識を高め、環境保全状況の知識と認識の向上を図ります。</p>		

令和6年11月18日

株式会社イシガミ

代表取締役 石上 誠